



花粉の少ない森づくりを応援しよう！

づくり支援倶楽部会報誌

24年度冬号
第17号

発行日：平成25年2月26日

- CONTENTS -

【特集】第7回花粉の少ない森づくり運動推進委員会	1
2013年花粉飛散時期一斉PR	3
企業の森活動報告	5
とうきょう森づくり貢献認証制度	6



第7回「花粉の少ない森づくり運動」推進委員会

東京都では、花粉発生源対策事業を広く都民の皆さまにご理解、ご協力いただくため「花粉の少ない森づくり運動」を展開しています。活動のさらなる推進を目指し、「花粉の少ない森づくり運動」推進委員会を設置しています。

委員は、林業関係者、商工関連団体、区市町村等の様々な団体の代表や、学識経験者など25名で構成されています。



1月25日に第7回「花粉の少ない森づくり運動」推進委員会が開催されました。

会議を前に、昨年8月に任期が終了した会長、副会長の選任が行われ、引き続き養老会長、ニコル副会長、村山副会長、角田副会長が選ばれました。

今回の会議に、養老会長が欠席されたため、村山副会長によって委員会が進行されました。

まず初めに、事務局から昨年度の実績と取り組みについて報告があった後、検討事項として「2013年花粉飛散時期一斉PR」と「東京の森林整備の推進」について意見が交わされました。

「2013年花粉飛散時期一斉PR」は、スギ花粉飛散時期である1～3月に集中して実施するPR活動で、2008年より実施。今年度の実施内容として、①東京マラソンを活用したPR、②小学校における箸づくり、③多摩産材のキーホルダーの配布、④PRブース設置などの展示イベント等について事務局より説明がありました。その中で、新しい取り組みとして、東京マラソンのイベント「東京マラソンEXPO」にて映像による事業説明を行うことや、小学校での箸づくりでは、森林などの専門知識がある普及指導協力員を活用して授業を行う案が出されました。また、新宿駅に近い東京アグリパークという立地の良い場所でイベントを開催し、協賛企業による木工品の展示即売会を開催するなど、今までにないPR活動として提案されました。

宮林委員からは、花粉は自然の流れの中で大変重要な機能を持っているということに配慮し、誤解のないよう子ども達へ伝えて欲しいとの要望が出されました。

また村山副会長からも木を植えて育てて使って、また植えるというサイクルのなかで、花粉を減らしていこうという趣旨が伝わるように、PR活動をお願いしたい

との提言がありました。

これら委員の意見を踏まえた上、①から④の内容を実行することで確認されました。(詳細は、P3～4)

次に花粉対策の重要な目的である「東京の森林整備」について意見交換がなされました。

都農林水産部長から、現在進めている多摩のスギ林を伐採して花粉の少ないスギ等に植え替える主伐事業によって、少しずつではあるけれども、東京の森林再生に向けて動き出したところと現状が述べられました。また都民の協力によって森づくりを進める新しい取り組みとして、今年度開始した「森づくり貢献認証制度」(詳細はP6)について説明があり、今後も都民や企業のさまざまなニーズに応えながら、幅広く森づくりに参加できるような仕組みを構築していくことが重要と述べられました。

久保田委員からは、花粉の少ない森づくり運動が進める「企業の森」の例を挙げて、「企業の森に参加される社員のほとんどが都市生活の人。しかし植林や下草刈りといった森づくりの体験を通して、森に対して理解を深めていってくれているようだ。企業の森のような事業は、東京の森について理解を深めてもらう上で、非常に意義のあることだと思う。」と述べられました。

企業による“森づくり”の関連から、「森づくり貢献認証制度」の事務局である森林組合連合会代表の植竹委員より、「認証の対象を現行の制度より広げるよう改善を図り、森づくりの推進に役立てるよう進めていきたい。」との発言がありました。

森林組合の小峰委員からは、「平成18年度から開始された花粉対策による主伐事業で伐採作業が増えた。それまでは大規模な伐採は少なく、作業の継承も危ぶまれていたが、若い作業員も増え、継続的に



育成できる状況になってきた。また多摩産材を扱う多摩木材センターにも材木の山ができ、市況も活発化しているという状況。ぜひ森林の循環が進むよう、今後主伐事業の継続を。」と事業に期待されていました。

林業家の田中委員からは「専門の林業家が少ない今、現場の人を育てる必要があるが、雇用できる経済状況としては充分ではない。山側は時代、時代でエネルギーの供給源として要望に応じてきた。それによって森林環境が整い、都市部の人たちは森林整備に対して考える必要がなかった。現在は、木材の経済的価値だけでなく、森のもつ多面的な機能や生物多様性といった自然を守っていくということで、森林整備、山の現場における人材育成を行ってほしい。」と要望が出されました。

それを受けて宮林委員からは、「若者達の人材育成技術の継承も重要であり、また森林をきちっと使い、森林を大事にする都民像、それによって循環型ができあがるのではないかと思う。花粉対策事業は、地域にとってプラスになっているはず、木材生産の出口論と入り口論というものの整備をしていく大きな刺激になった。」との発言がありました。

最後に、ニ科尔副会長から「日本は地震があるから鉄筋コンクリートでなければだめという人もいる。しかし世界で一番大きな木造建築物は、奈良の東大寺、そして世界一古いのは、法隆寺で1500年。鉄筋の高層ホテルは40年で建て替えをしなければならない。日本に来て50年経つが、日本の木で物をつくる愛情が薄いように感じる。日本の心の病気を治すのは森。子どもの時代から木と共にという意識、教育から変えていくことで、子どもや若者を森に戻るようにしましょう。みなさん、情熱をもって取り組みましょう」と、力を込めて発言されていました。

会の終了にあたり、村山副会長より「今年の春は、昨年に比べて花粉の飛散量は、かなり多くなる予測です。今日の意見、提案を踏まえて、引き続きさまざまな取り組みをわかりやすく実行して欲しい。」と締め括りました。

団体名・役職	氏名
1 東京大学名誉教授	(会長) 養老 孟司
2 作家	(副会長) C.W. ニ科尔
3 気象予報士	(副会長) 村山 貢司
4 林業家	田中 惣次
5 林業家	福田 珠子
6 東京農業大学教授	宮林 茂幸
7 (一社)日本経済団体連合会環境本部長	岩間 芳仁
8 東京経営者協会常務理事	和栗 安広
9 東京都商工会議所連合会幹事	松浦 成業
10 東京都中小企業団体中央会会長	大村 功作
11 (社)東京工業団体連合会会長	宇野澤虎雄
12 東京都商工会連合会専務理事	長谷川 登
13 東京都商店街振興組合連合会理事長	桑島 俊彦
14 日本労働組合総連合会東京都連合会事務局長	須永 謙治
15 特別区長会(千代田区長)	石川 雅己
16 東京都市長会(東大和市長)	尾崎 保夫
17 東京都町村会(奥多摩町長)	河村 文夫
18 東京都農業協同組合中央会会長	村野 弘一
19 (社)東京都木材団体連合会会長	吉条 良明
20 東京都森林組合連合会代表理事専務	植竹 一郎
21 東京都森林組合代表理事組合長	小峰 幸憲
22 (特)森づくりフォーラム理事	久保田繁男
23 (社)東京都医師会理事	(副会長) 角田 徹
24 東京都合板組合連合会会長	井上 篤博
25 東京都町会連合会会長	大崎 秀夫

花粉飛散時期一斉PRを展開中

花粉の少ない森づくり運動

東京都と（公財）東京都農林水産振興財団では、花粉発生源対策と森林整備事業をより一層推進するため、都民や企業の方々に、参加・協力を広く呼びかける「花粉の少ない森づくり運動」を展開しています。

スギ花粉の飛散時期に合わせて、各種のPR活動を集中的に展開しております。

都内各所でパネル展示や、「東京の木」の箸づくり体験等ございますので、ぜひご参加ください！



〔体験イベント〕

○ 2月2日「まちの先生見本市」

「新宿の環境学習応援団」として、地域と学校の連携で、環境学習・環境活動を広げることを目的に開催されたイベント。体験型ワークショップのひとつとして、本運動も参加しました。多摩産材に直接触れ親しんでいただこうと、木片を使用した工作教室を行いました。

【主催】NPO 法人新宿環境活動ネット・新宿区立環境学習情報センター



〔ポスター掲示〕

○ 2月21日～2月27日「都営地下鉄10駅」

都営地下鉄の駅構内にて花粉の少ない森づくりPRポスターを掲示します。

- ・ 掲示する駅：新宿駅、新宿三丁目駅、神保町駅、六本木駅、日比谷駅、三田駅、汐留駅、新橋駅、東銀座駅、日本橋駅



〔PRブース展示〕

○ 2月 5日～3月 1日 東京アグリパーク（詳細はP4）

3月 5日～ 9日 道の駅八王子（詳細はP4）

常設展示 エコギャラリー新宿

各施設で協力のもと、多摩産材を使用した木製PRブースの展示を行います。本運動に関するチラシや事業内容のパネルなどが展示されています。



東京都民銀行にてPRブースを展示します

本運動にご理解、ご協力いただいている東京都民銀行さまでは、花粉飛散時期にPRブース展示にご協力いただいております。下記の4つの支店に設置します。お立ち寄りの際には、ぜひご覧ください。東京都民銀行 <http://www.tominbank.co.jp/>

- ・ 2月27日(水)～3月12日(火)大森支店、西大久保支店
- ・ 3月15日(金)～3月26日(火)小平支店、多摩支店

参加者募集中のイベント

東京アグリパーク

住所：渋谷区代々木 2-10-12 JA 東京南新宿ビル
アクセス：JR 新宿駅南口より徒歩 4 分、甲州街道沿い

展示イベント(閲覧自由)

2月5日(火)～3月1日(金) 10:00～16:00(昼休み 11:30～12:30) 土日祝休み

- ・事業説明パネル、映像による事業説明やパンフレット設置
- ・多摩産材のウッドチッププールや PR ブース、木製品の展示



多摩産材のキーホルダー名入れ体験(予約不要)

3月2日(土) 10:00～15:00 直接会場へお越しください

- ・焼き付けペンで作業します。
- ・1個 300円(花粉の少ない森づくり募金として)



協賛企業による東京の木製品の展示即売会

3月2日(土) 10:00～15:00

- ・漆器やストラップ、コースターなど。木の温もり感じる作品を展示販売します。



道の駅八王子滝山

住所：八王子市滝山町 1-592-2
アクセス：八王子 IC から約 5 分、新滝山街道沿い

展示イベント(閲覧自由)

3月5日(火)～3月9日(土) 9:00～21:00

- ・花粉の少ない森づくり運動の事業説明パネルの展示
- ・多摩産材を使用した PR ブースや木製品の展示



多摩産材を活用した箸づくり体験(予約不要)

3月9日(土) 10:00～15:00 直接会場へお越しください

- ・カッターで削り、仕上げに紙やすりを使用します。
- ・1膳 300円(花粉の少ない森づくり募金として)



東京マラソン・東京マラソン EXPO2013 に参加しました

東京マラソンでは、「つなぐ」をコンセプトに、チャリティ事業を展開しており、昨年に続き「花粉の少ない森づくり募金」が選ばれ、「東京マラソン2013」及び「東京マラソン EXPO2013」に参加しました。

ご寄附して下さったチャリティランナーをはじめ、参加ランナーやイベント来場者にグッズやチラシを配布するなどの PR 活動を行いました。

- 「東京マラソン 2013」(2月24日) ・パネル展示
 - 「東京マラソン EXPO2013」(2月21日～2月23日)
 - ・PR ブース展示、映像上映、多摩産材グッズの配布
- 会場：東京ビッグサイト (全日)



※2012 の様子です



※配布した東京の木の割り箸



企業の森活動報告

今年度も残すところ 1ヶ月となりました。24年度に行った企業の森事業における森林イベントは25回に上ります。多くの方が、木を植える、下刈りするなどの森づくりを体験されました。

24年度最後となった11月24日に実施したイベントをご報告いたします。

11月24日「東芝府中・日の出の森」 参加人数：38名
作業：刈払い、間伐 その他：展望台製作、自然観察

「東芝府中・日の出の森」は、今年度で6年目を迎え、森づくりイベントとしては9回目となります。

雑草を刈り払う作業は、尾根に至るまでの広い範囲を行いました。足元の悪い斜面にも果敢に取り組まれています。

展望台づくりでは、前回までに組み上がっていた土台部分に加え、手すりや階段を設置し、今回晴れて完成となりました。東芝の管楽器サークルの有志の方々が、完成した展望台にて演奏を披露。森に流れる美しい調べに、作業の疲れを忘れるひとときとなりました。

自然観察に参加された親子は、トンボの幼虫を捕まえたり、巣箱の掛け替えや木の切り倒しを体験したりと、森の一日を楽しみました。

肌寒く足元も悪い中での作業でしたが、皆さん明るく声を掛け合い、終始賑やかな雰囲気の中でイベントを終えました。



花粉症について ～ 今春の飛散花粉の総数は昨春の5～6倍 ～

今春のスギ・ヒノキ花粉の飛散総数は、昨春の5～6倍、例年の2倍となる見込みです。

東京都では、花粉症の予防・治療に役立てていただくため、インターネットやテレホンサービス、携帯電話サイトを通じて、スギ花粉などの花粉情報の提供を行っています。

花粉症は、花粉を全く吸い込まなければ症状は出ません。また、花粉を吸い込んでしまっても、その量が少なければ症状も軽く、服薬等により症状を抑制しやすくなります。

花粉情報を活用し、飛散の多い時間帯は外出を控えたり窓を閉めたりして、効率的に予防しましょう。

出典：東京都健康安全研究センター企画調整部 健康危機管理情報課
「平成25年版 花粉症一口メモ」

とうきょう花粉ネット



携帯電話でも
利用できます
(Myとうきょう
花粉ネット)

飛散花粉数は、1日を通じて同じではなく、時間帯によって大きく変動しています。とうきょう花粉ネットでは、1時間単位の花粉予報や自動測定結果を見ることが出来ます。

東京都の花粉情報

検索

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kanho/kafun/>

テレホンサービス 03-3233-1187(イハナ)

都内5地域(多摩3地域、区部2地域)の中から、ご希望の地域の花粉情報を聞くことが出来ます。

「とうきょう森づくり貢献認証制度」

第1回 認証書授与式が行われました

東京都では、森林整備活動に関心のある企業や都民の皆さまの森づくり活動への参加と、多摩産材をより一層利用していただくことを目的として、「とうきょう森づくり貢献認証制度」を設けています。

認証される対象は、「森づくり活動」と「木材利用」によって多摩地域の森林整備に貢献した団体や個人です。

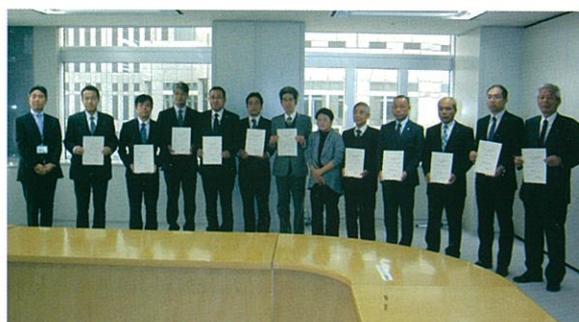
森づくり活動では、「森林整備サポート認定」と「二酸化炭素オフセット認証」があります。前者は、森づくり活動の実施または、資金提供を行っている団体が対象となります。本運動にて、企業の森に参加している団体は、この対象となります。後者は、環境省オフセットクレジット（J-VER）制度への移行が可能となっており、概ね10 ha以上の森林面積に対し、森林整備実施者及び森林整備協賛者が対象となります。

この制度では、森づくりへの参加協力を希望する企業・団体と、森林整備を希望する土地所有者とのマッチング（仲介や調整）を行う予定であり、両者を結びつけることによって図られる森林整備促進

を目指しています。

一方、木材利用では、多摩産材を使用した机、椅子など什器の製造業者や認証された什器を購入した団体や個人を対象とした「什器による二酸化炭素固定量認証」と、多摩産材を利用して建築された木造建築物の建築主もしくは施工業者を対象とした「木造建築物による二酸化炭素固定量認証」が設けられており、多摩産材の利用促進を目的としています。

このたび、森林整備サポート認定など合計56件、12団体から申請があり、審査の結果、認証することとなり、昨年12月21日に、初の認証書授与式が執り行われました。



森林整備サポート認定

申請者	協定面積 (ha)	二酸化炭素吸収量 トン-CO ₂
武蔵野市	2.93	187.75
東芝労働組合府中支部	1.75	73.82
株式会社東芝 府中事業所	3.17	368.37
株式会社いなげや	0.93	47.43
株式会社東栄住宅	2.89	205.11
株式会社カナデン	0.46	38.61
公益社団法人青梅法人会	1.61	77.22
リコーロジスティクス株式会社	1.76	114.21

什器による二酸化炭素固定量認証

申請者	品名	多摩産材 使用材積 (立方メートル)	二酸化炭素固定量 キログラム-CO ₂
帝国器材株式会社	打ち合わせ テーブル外 44 件	0.12924/個当り	96.5/個当り
協同組合 東京の木で家を作る会	間伐材 プランター	0.02073/個当り	11.9/個当り

木造建築物による二酸化炭素固定量認証

申請者	工事種別	多摩産材 使用材積 (立方メートル)	二酸化炭素固定量 トン-CO ₂
建築主：M氏 事業者：(有)マイホームパートナー (日野市)	新築	13.79	8.17
建築主：H氏 事業者：(有)キューブワン・ハウジング (国分寺市)	新築	31.15	18.89

※今回認定されたうち7つの団体は、企業の森参加団体です

森づくり支援倶楽部 25年度入会のご案内

森づくり支援倶楽部では、東京の森づくりを応援する25年度の会員を募集しています。会員特典として、会報誌や多摩産材の木工品を差し上げています。会費は、運動のPR活動や花粉の少ない森づくり募金などに活用されます。

お気軽にご入会いただける

サポート会員	入会金 1,000円
対象：個人	年会費 なし

加入されると・・・

木製会員証、協賛施設割引券、会報誌が届きます。

より森づくりに協力したい&多摩の森林にご興味のある方

正会員 (個人)	年会費 3,000円 (ご家族6名まで登録できます)
賛助会員 (法人)	年会費 50,000円 (1法人)

※年会費の有効期限は年度単位となります。毎年4月1日更新。

加入されると・・・

多摩産材製品(初めての方は会員証)、協賛施設割引券(20枚綴)、温泉施設半額券、会報誌が届きます。

また、倶楽部主催の**森づくりイベント**に**無料**でご参加できます！
サポート会員は有料でご参加できます。

※ご家族の登録について：登録人数分の会員証発行とイベント参加費は無料です。
その他の特典は1名分とさせていただきます。

継続入会のご案内は、3月にお送りいたします

新規入会キャンペーン

◆ サポート会員(新規)

新規でご加入された方を対象に先着20名様まで

多摩産材コースター
をプレゼント



イメージ

◆ 正会員(新規)

新規でご加入された方を対象に先着20名様まで

多摩産材フォトスタンド
をプレゼント



イメージ

継続入会キャンペーン

◆ 正会員 (昨年度、正会員だった方対象)

継続でご加入された方を対象に
抽選で20名様に

多摩杉シャープペン
をプレゼント！



イメージ

※昨年当選された方は、抽選から外れます。
予めご了承ください。

賛助会員のご紹介 ～私たちは、「花粉の少ない森づくり運動」に賛同しています～

賛助会員を随時募集しています！(年会費50,000円)
会費は、「花粉の少ない森づくり」に役立てられます！

立山産業株式会社

(本社)
〒197-0011 東京都福生市福生 973
TEL: 042-553-9111 FAX: 042-553-9152
URL: <http://www.tateyama-net.co.jp>
E-mail: eco@tateyama-net.co.jp

新東京木材商業協同組合

理事長 長浦 慎一
〒171-0044 東京都豊島区千早 1-20-13
URL: <http://www.zaimokuya.or.jp/>
TEL: 03-3959-7811
FAX: 03-3958-3592

“考えます木材流通を前向きに” 東京材木商協同組合

〒111-0052 東京都台東区柳橋2丁目19番8号
URL: <http://www.33.ocn.ne.jp/~zaisho/>
TEL (03) 3862-7081
FAX (03) 3864-9123

～木を育てたい。だから木を使おう。～ 社団法人東京都木材団体連合会

会長 吉条 良明
〒136-0082 東京都江東区新木場 1-18-8
URL: <http://homepage3.nifty.com/tomokuren/>
TEL: (03) 5569-2211 FAX: (03) 5569-2233

東京木材問屋協同組合

理事長 吉条 良明
〒136-0082 東京都江東区新木場 1-18-8 木材会館
URL: <http://www.mokuzai-tonya.jp/>
TEL: (03) 5534-3111 FAX: (03) 5534-7711

「東京の木の紙」のお問い合わせは

4030 株式会社 シオザワ

〒135-0004 東京都江東区森下 1-3-12 (第二営業部)
TEL: 03-3634-4871 FAX: 03-3634-4872
URL: <http://www.shiozawa.co.jp>

多摩産材と暮らそう！ パネ協 日本住宅パネル工業協同組合

東日本支所
〒113-0021 東京都文京区本駒込 6-15-7
Tel: 03-3947-7611 Fax: 03-3947-7627
URL: <http://www.panekyo.or.jp>

公益財団法人東京都農林水産振興財団

森づくり支援倶楽部事務局

〒198-0036 東京都青梅市河辺町 6-4-1 青梅合同庁舎 3階

TEL: 0428-20-8153 <http://www.tokyo-aff.or.jp/club/index.html>

Email: moriclub@tdfaff.com